



**未来技術を使って
理想のまちの未来を考えよう**



1学期の授業の流れを確認しよう

- 1 自分の好きなことを整理する
- 2 興味のあるSDGsゴールを見つける
- 3 自分のまちの好きなところ・困りごとを見つける
- 4 未来技術を使って自分のまちの未来を考える

いよいよ
最後のステップ



今回の授業は「個人ワーク」がメイン！

メイン

個人
ワーク

グループ
ワーク

クラス内
発表



今日の目標

実践

**まちの好きなところ/困りごと/強み/弱みに
未来技術(アップデートカード)を
使用して、よりよいまちを目指す！**



未来技術(アップデートカード)を確認しよう

Q

近くに売っていないおもちゃが欲しい！
こんなとき、どのアップデートカードを使用する？

移動のアップデート



行き先を伝えたら自動で目的地に向かってくれる空と陸の両方を移動する**電気を動力源とするタクシー**を利用できます。中間山地のような過疎地へのアクセスも良くなります。

必要予算 6

必要データ量 6

会話のアップデート



どんな言葉でも翻訳することができ、文字も音声や点字の触感として出力できます。**発話できない人や動物の言語表現を理解することも可能**です。

必要予算 2

必要データ量 2

工場のアップデート



必要な時に今までの大量生産技術と同じ量を生産できる**付加製造(3Dプリンティング)**によって、各家庭内で自由に**必要なものを生産**できます。保有している製品の**改良、修理に必要な部品の製造**もできます。

必要予算 4

必要データ量 6

送電のアップデート



人口が少ない都市(人口10万人未満)で、**100%再生エネルギー**のスマートシティ化を実現するために、**スマートグリッド制御(効率よく電力を送電する)システム**

必要予算 6

必要データ量 6

どんな使い方ができるか考えてみよう！

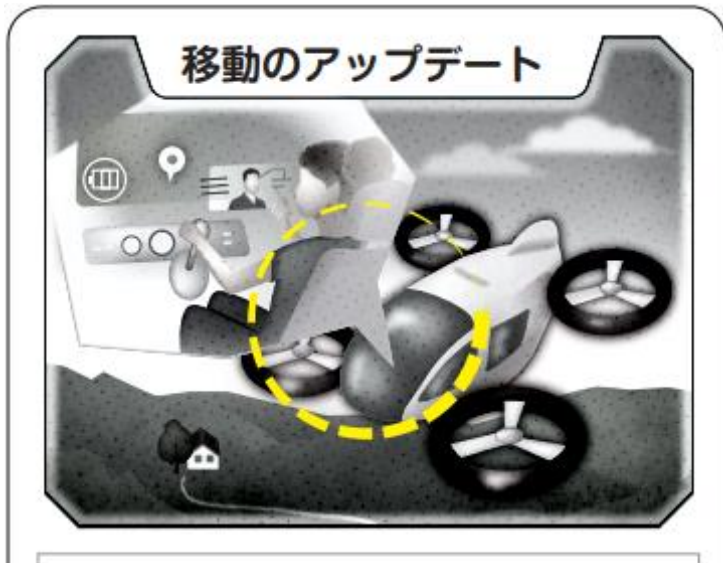


例えば



近くに売っていないおもちゃが欲しいときは...

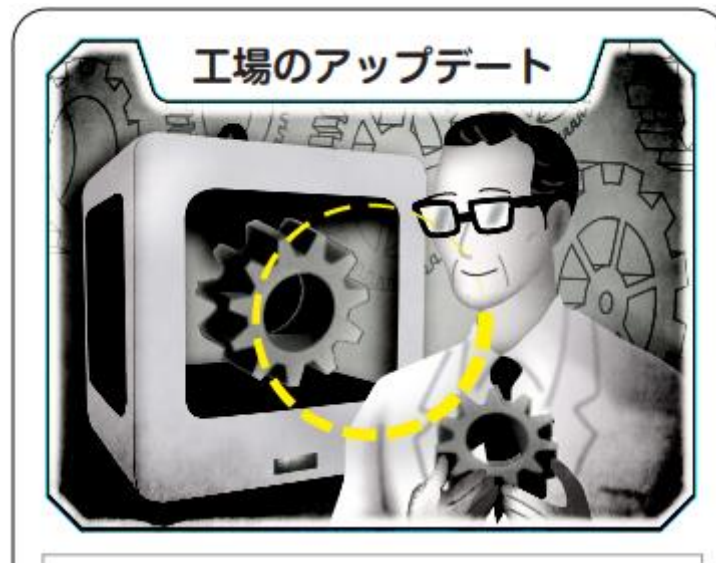
例えばこんな使い方がある！



「**移動のアップデート**」

で

自動運転の空飛ぶ車を使って遠くへ楽に行ける



「**工場のアップデート**」

で

自分の考えた通りの物を作ることができる



ワークシートを準備しよう

ワークシート8,9

理想の未来を考えよう

年 組 番 名前:

ステップ①

自分にとって理想のまちを考えよう！

例：○○なまちになってほしい！/○○できるまちになってほしい！

ステップ②~④

マップから「好きなこと・困りごと・強み・弱み」から1つ選び、
未来技術(アップデートカード)を使って解決しよう！

ステップ②

マップから選んだもの

ステップ③

アップデートカード(1枚以上)

ステップ④

起こる良い変化

ステップ⑤

アップデートした「理想の未来」のキャッチコピーを考えよう！

グループ
ワーク①

★自分のやくわりを書こう★

グループ
ワーク②

個人ワークで考えた内容をグループ内で共有してみよう！

下の参考文献に当てはめて、グループのみんなに意見を共有してみよう

ぼく・わたしが考える理想のまちは **ステップ1の内容** です。

ぼく・わたしはまちの
「好きなところ・困りごと・強み・弱み」の中から **ステップ2の内容** を選びました。

使った未来技術(アップデートカード)は **ステップ3の内容(カード名)** です。

これにより、**ステップ4の内容** という良い変化が起きました！

このアイデアのキャッチコピーは **ステップ5の内容** です。

今日の授業では
ワークシートの点線より上の部分を
全て記入しよう！



本日の流れ：住んでいるまちをアップデートしよう

1

自分にとっての理想のまちを考えよう！

2

1人1つマップに書いてある
好きなところor困りごとor強みor弱みを選ぼう！

3

未来技術(アップデートカード)を選ぼう！

4

未来技術(アップデートカード)を使った
良い変化を考えよう！

5

アップデートした「理想の未来」のまちの
キャッチコピーを考えよう！



ステップ1

理想のまちを考えよう



自分が考える理想のまちを1つ書いてみよう

5. 自分の住むまちがどんなまちになったら嬉しいですか？（自由に書いてね）

例えば...


「いろいろな食べ物が食べられるまち」

「事故がなくみんなが安全に暮らせるまち」

「たくさんの人が交流しあっているまち」

「景色がきれいなまち」



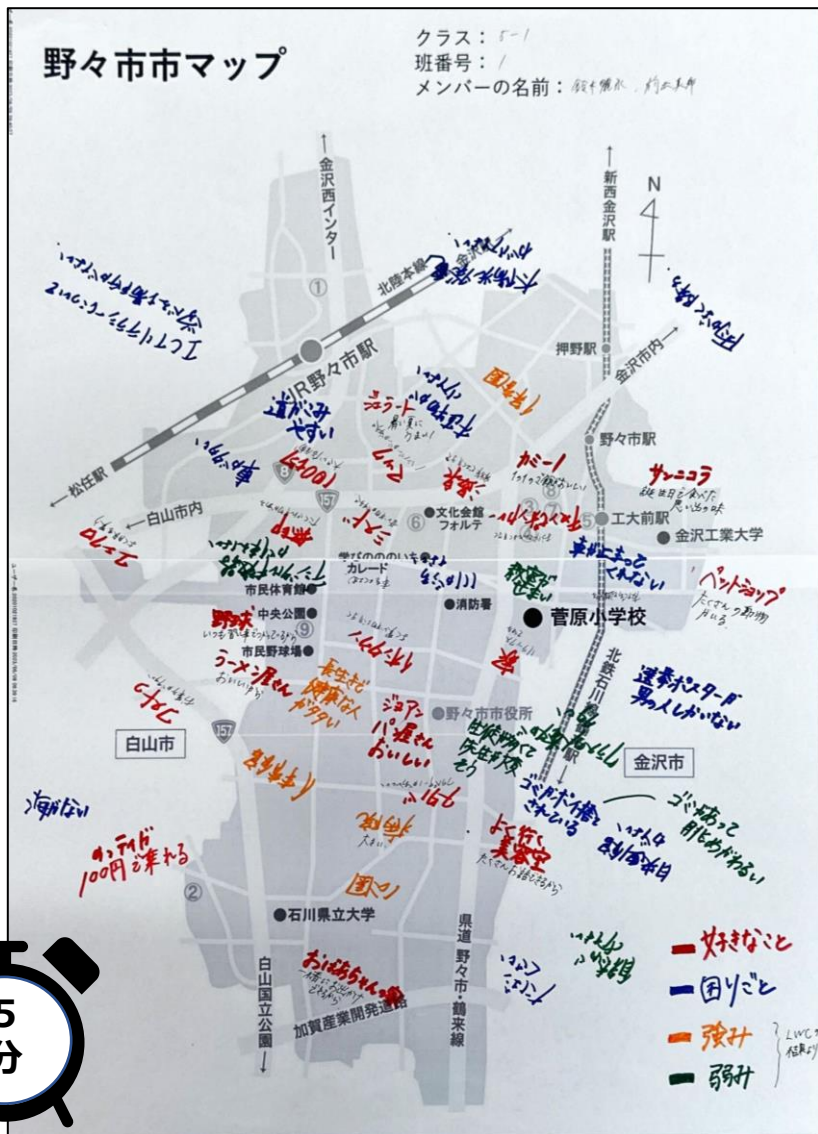


ステップ2

マップから選ぼう



マップに書かれているものから1つ選ぼう



好きなところ(赤色)
困りごと(青色)
強み(オレンジ色)
弱み(緑色)

自分の理想に関連しているものを
1つ選んでみよう！

ステップ3

未来技術（アップデートカード）を選ぼう



未来技術(アップデートカード)を選ぼう!

セキュリティのアップデート

重要インフラ、自動車などの制御システムや個人用IoT機器・サービスに対し不正な侵入を防止する技術です。IoTを活用した製品のシェアや場所特定を安全に行えます。

必要予算 **4**

必要データ量 **2**

発電のアップデート

水素貯蔵技術により、経済的かつ広い範囲に安定して電気を作ったり、その電気を貯めておくことができます。また、稼働時に発生する熱も建物内で最大限活用できます。

必要予算 **4**

必要データ量 **6**

共感のアップデート

個人の体験を、感覚だけでなく、その時の気持ちなどもそのまますべて記録し、それを編集・伝達・体験・共有できます。

必要予算 **2**

必要データ量 **2**

配達のアップデート

配達ドローンや自動スーパーによって速くに出向かなくても買物ができます。また、過去の購買履歴をもとにした買い物により、過剰な仕入れや買物が減少します。

必要予算 **4**

必要データ量 **6**

伝統工芸のアップデート

職人たちの技能をはかったり、模型を作ったりすることで、簡単に言語化できない知識を自動的に保存できます。自然との共生により生まれた日本の貴重な文化を守ったり、工場の職人の様々な技術の継承を容易にします。

必要予算 **6**

必要データ量 **6**

農業・林業のアップデート

ドローンやロボットを遠くから操作することで簡単に野菜などを作ることができ、景色も綺麗なままです。有機農業でも規格外な野菜を減らすこともできます。

必要予算 **2**

必要データ量 **2**

道案内のアップデート

高齢者や視覚障がい者が安心して自由に行動できる情報を提供する、ナビゲーション(案内する)システムにより迷子や行方不明者を減らせます。

必要予算 **2**

必要データ量 **2**

停電対策のアップデート

災害が起き、停電しても、遠いところからワイヤレスで電気を確保することができ、二次災害を減らすことが出来ます。

必要予算 **6**

必要データ量 **6**

工場のアップデート

必要な時に今までの大量生産技術と同じ量を生産できる付加製造(3Dプリンティング)によって、各家庭内で自由に必要なものを生産できます。保有している製品の改良、修理に必要な部品の製造もできます。

必要予算 **4**

必要データ量 **6**

生活空間のアップデート

光や温度、起きるタイミングなどいろいろな要望に応えた自分の好きな空間で過ごしやすい生活ができます。快適な生活空間が存在することで、不要な移動も削減されることにつながります。

必要予算 **2**

必要データ量 **6**

会話のアップデート

どんな言葉でも翻訳することができ、文字も音声や点字の触感として出力できます。発話できない人や動物の言語表現を理解することも可能です。

必要予算 **2**

必要データ量 **2**



未来技術(アップデートカード)を1つ以上使って考えてみよう

ステップ4

**未来技術(アップデートカード)を使用した
後に起こる良い変化を考えよう**



未来技術(アップデートカード)を使用した後に 起こる良い変化を考えよう



「○○して使った結果○○になった」という
良い変化を考えよう！



ステップ5

**アップデートした「理想の未来」の
まちのキャッチコピーを考えよう！**



アップデートした「理想の未来」の まちのキャッチコピーを考えよう！



使ったアップデートカードのキーワードなどを
組み合わせてオリジナルのアイデア名を考えてみよう！





ワーク終了



**理想の未来を定期的に見直して
アップデートしていくことが大切です**



**そして、理想の未来を実現するために、
未来技術を上手く活用することが大切です**



次回の授業は「グループワーク」がメイン！

